

## 情報・システム研究機構教育研究評議会（平成29年度第2回）議事要旨

日 時：平成29年10月24日（火） 13：30～15：30

場 所：情報・システム研究機構会議室

出席者：岡田清孝評議員、栗原考次評議員、徳田英幸評議員、鳥海光弘評議員、  
BENTON Caroline Fern 評議員、藤井良一評議員（議長）、津田敏隆評議員、  
樋口知之評議員、桂勲評議員、小池良高評議員、中村卓司評議員、喜連川優評  
議員、藤山秋佐夫評議員、野木義史評議員、安達淳評議員、伊藤聡評議員、城  
石俊彦評議員

オブザーバー：鈴木監事

陪席者：本部事務局・研究所事務担当者

議事に先立ち、今回より3号委員となった中村評議員、及び4号委員として就任した野木評議員の紹介があった。

その後、議長より本会の成立要件の確認があった。

議 事：

### 【審議事項】

#### （1）就業規則等の一部改正について

小池理事より、資料1-1、1-2に基づき説明があり、審議の結果、経営協議会でも審議の上、過半数労働者代表に意見照会を行った後、役員会にて審議することが了承された。

#### （2）組織運営規則等の一部改正について

小池理事より、資料2-1～2-3に基づき説明があり、審議の結果、経営協議会でも審議の上、役員会にて審議することが了承された。

### 【報告事項】

#### （1）研究教育職員に係る人事異動について

藤井機構長より、資料3に基づき報告があった。

#### （2）平成28事業年度業務実績に係る評価について

津田理事より、資料4-1～4-5に基づき報告があった。

(3) 財務状況の解説について

小池理事より、資料5に基づき報告があった。

<意見概要>

- 財務指標資料のレーダーチャートは年度毎に変わるのか。また、それぞれの機構でミッションが異なるので、このチャート項目のみをもって、当機構の優位性を判断することは注意が必要ではないか。
- レーダーチャートは年度毎に変わるが、前年度と同様に当機構の財務は健全であると言える。このチャートは当機構関係者に示す情報として解説したものであり非公表である。当機構のミッションである教育研究、共同利用のパフォーマンスとの関連性はしっかりと見ていく必要がある。

(4) 平成30年度概算要求状況の伝達について

小池理事より、資料6に基づき報告があった。

(5) 第3期中期目標期間における施設・環境整備計画について

小池理事より、資料7に基づき報告があった。

(6) 平成29年度補正予算（一般経費）について

小池理事より、資料8に基づき報告があった。

(7) 大学への貢献可視化に関する調査報告について

津田理事より、資料9に基づき報告があった。

<意見概要>

- 大学も厳しい財政状況にあるので、大学と大学共同利用機関の双方に予算化されるような措置がないと連携は深まらないのではないか。
- まずは我々が既に持っている機能やスキルをまず知っていただいて、今あるもので連携を深めていくことから始めていきたい。
  
- 大学の若手研究者や学生の共同利用や共同研究がより増えるよう働きかけることは必要であり、大いに期待をしているが、それにより研究所の教員に過度な負担がかからないよう配慮することも必要。
- 機構としてもそこが課題であると承知している。対応策としては、新規プロジェクト等を創設するのではなく、既に実施している事業を活用・強化する

ことで、大学の機能強化に寄与していきたいと考えている。

- 例えば各研究室が週1回など定期的に行っているセミナーに大学の若手研究者や学生を受け入れることができるような仕組みをつくり、各大学もそこに積極的に参加させる環境を整えば新たなイノベーションが起こるのではないか。

#### (8) 研究所活動状況報告（統計数理研究所）

樋口所長より、資料10に基づき報告があった。

<意見概要>

- 女性研究者の割合拡大について、何か特別な施策を行ったのか。  
→ 前機構長が中心となり、女性のみを採用募集を行った。そして、女性教員の採用時にはスタートアップの予算支援を行っている。また、常日頃から優秀な女性研究者に直接アプローチをするなど、地道な努力をしている。

#### 【自由討論】

- 大学は厳しい財務状況の中で、基金を設立して専門家を登用し、民間企業からの寄付を募っているところが多いが、機構の場合はどうか。  
→ 例えば極地研では、極地振興基金の設立や地元企業からの寄付によるオーロラシアターのリニューアルを行うなど、各研究所において、現時点で外部資金獲得のための専門的人材は雇用していないが、努力している。
  - 機構は質のいいデータを多数持っているのだから、企業や学生などの一般の人にも利用できるよう、保有データのありかを分かりやすく示したウェブサイトなどを作成して認知度を高めるのはどうか。  
→ データサイエンス共同利用基盤施設の大きな仕事であると考えている。例えば情報研においては、各大学等がデータを格納することが困難になっているので、データをオープンにするプラットフォームづくりで解決策を提示していく予定である。データの利用促進について見せ方を工夫したいと考えている。
- ・機構長より、各研究所の視察について、委員の要望に応じて個別対応するとの案内があった。

(次回の教育研究評議会の日程について)

- ・次回の教育研究評議会は、1月26日(金) 13:30から開催の予定。

以上

《配付資料》

※ ☆はiPad及び机上に紙で配布

★は机上に紙でのみ配布

- ・ 前回議事要旨
- ・ 就業規則の改正事項(案) . . . . . 【資料1-1】
- ・ 就業規則等(新旧対照表) . . . . . 【資料1-2】
- ・ 情報・システム研究機構組織運営規則の一部改正について(案) . . . . . 【資料2-1】
- ・ 情報・システム研究機構組織運営規則(新旧対照表) . . . . . 【資料2-2】
- ・ 情報・システム研究機構組織運営規則(改正案) . . . . . 【資料2-3】
- ・ 研究教育職員に係る人事異動について . . . . . 【資料 3】
- ・ 平成28事業年度に係る業務の実績に関する評価ヒアリングについて . . . . . 【資料4-1】
- ・ 平成28事業年度に係る業務実績報告書に関するヒアリング資料 . . . . . 【資料4-2】
- ・ 平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書 . . . . . 【資料4-3】
- ・ 【参考資料】平成29年度COE性ポンチ絵 . . . . . 【資料4-4】
- ・ 【参考資料】平成29年度基礎データ . . . . . 【資料4-5】
- ・ 平成28年度 財務状況の解説 . . . . . 【資料 5】 ☆
- ・ 平成30年度国立大学法人運営費交付金概算要求内容の伝達について . . . . . 【資料 6】
- ・ 第三期中期目標期間における施設・環境整備計画について . . . . . 【資料 7】
- ・ 平成29年度補正予算(一般経費)について . . . . . 【資料 8】
- ・ 大学への貢献可視化に関する調査報告について . . . . . 【資料 9】
- ・ 統計数理研究所の概要 . . . . . 【資料 10】
- ・ 情報・システム研究機構 メディア掲載記事一覧(平成29年4月1日～平成29年9月30日) . . . . . 【机上配布】★
- ・ 立川の研究者たち 国立極地研究所編 . . . . . 【机上配布】★